

自己評価

(評価対象：令和2年度)

令和2年度自己評価結果

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

当園は、昭和53年に設立され、約50年に渡り、調和のとれた心豊かな子どもを育てたいという理念のもと、幼児教育を実践して参りました。時代の変遷と共に全ての環境が変わりました。そして令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による様々な一人ひとりの生活の在り方を変えざるを得ない状況になりました。

その中で、令和2年度の活動を振り返り、学校評価として自己評価を実施しました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や状況を客観的に評価することで教育者としてさらに成長することができればと思っております。この評価結果を深く受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めて参ります。

1.本園の教育目標

- ・ 健康で明るい子（遊びを通して、心身の発達、心の感性を育む）
- ・ 約束を守り友だちと仲良く遊べる子（一人ひとりの個性を尊重し、一人ひとりの発達を見守る）
- ・ 思いやり深く心の広い子（保育者、子ども一人ひとりの人を思う心を育む）
- ・ 物事に感謝できる心豊かな子（クラス活動、園活動、いろいろな遊びに喜んで参加してかかわる心を育む）

I 保育の計画性	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.園の教育理念・教育方針の理解				
○ 園の教育理念や教育方針を理解している	○			
○ 園の方針、園長の考えについて教職員と話し合っている	○			
○ 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	○			
2.園教育要領の理解				
○ 教育要領を理解していると思う	○			
○ 教育要領について、園長や教職と話し合っている	○			
○ 幼児の姿や環境の構成。教師のかかわりなど想起できる	○			
3.教育課程の構成				
○ 園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ園の教育理念、方針に従い構成している	○			
○ 園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている	○			
○ 園の教育課程は社会状況や子どもの実態を考慮しながら、見直しを行っている	○			
4.園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている				
○ 指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態等をもとに考えて作成している	○			
○ 指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活を考慮して作成している	○			
○ 短期の指導計画は子どもの実態に合わせて自由に変更できるような順応性のあるものにしてている	○			
○ 幼児の生活が豊かになるような行事を幼児の実態に合わせて精選している	○			
5.環境の構成				
○ 安全で清潔感のある環境構成をしている	○			
○ 指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をしている	○			
○ 幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている	○			
○ 幼児が自ら活動していけるような場や空間の構成をしている	○			
○ 遊びに必要な遊具や用具素材等、質・数量を配慮して用意している	○			

I 保育の計画性	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
6.環境の内容				
○ 幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている	○			
○ 楽しい雰囲気の中で安心して遊び込める環境構成をしている	○			
○ 幼児の活動がより豊かになるように活動の展開に応じて環境を再構成している	○			
○ 幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている	○			
○ 教師の願いや意図を持って環境構成をしている	○			
○ 幼児の発達や生活を見直して環境構成をしている	○			
○ 季節の変化に応じた環境構成をしている	○			
○ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	○			
7.保育と計画の評価・反省				
○ 自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている	○			
○ 評価・反省は観を定めて行っている	○			
○ 自分の保育と計画の評価・反省についての次の保育と計画に生かせるように行っている	○			
○ 自分の保育を他の教師に見てもらい、それをもとに検討する	○			

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.健康と安全の配慮				
○ 朝の登園時には特に視察を大切について幼児の体調を確認している	○			
○ 体調が悪そうな時は検温をする等適切な処置を行い家庭に連絡をしている	○			
○ 事故や怪我は発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡を取り、適切な処理をしている	○			
○ 園内に危険な箇所、活動が年齢や能力に対して危険ではないか等常に観察している	○			
○ 危険予測について、幼児達と一緒に考えたり等して安全な遊び方について気付くことができるようにしている	○			
○ クラスの中の水道付近の清掃や換気、採光、室温等に気を付けている	○			
○ トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している	○			
2.幼児のみとりと理解				
○ 一人ひとりの幼児とのかかわりを特に大切に考え対応をしている	○			
○ 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○			
○ 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている	○			
○ 幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている	○			
○ 見えないところで活動している幼児にいてもその活動の様子を推察するようにしている	○			
○ 一人の幼児をじっくり見ながら、周囲にも目を配ることができる	○			
○ 幼児のこれまでの姿、今の姿からこれからの活動をある程度予想することができる	○			
○ 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる	○			
○ 幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる	○			
○ 幼児たちが今興味や関心を持っていることがわかる	○			
○ 幼児の思いを自分の一方的な感じ方で決めるけないようにしている	○			
○ 幼児の理解のために保護者と話し合うことがある	○			
○ 幼児の姿を家庭での生活を踏まえて理解している	○			
○ 幼児の姿を多面的にとらえることができる	○			

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
3.指導とかかわり				
〔共同作業者として〕				
○ 幼児に合わせて同じように動いたり、同じ目線にたつてものを見つめたりしている	○			
○ 幼児の気持ちに共感しながら、一緒に遊んでいる	○			
○ 一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている	○			
○ 幼児からのアイデアを大切に受け止めている	○			
〔あこがれを形成するモデルとして〕				
○ 「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている	○			
○ 教師らしい品位ある言葉、正しい日本語を心がけている	○			
○ 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている	○			
○ いたわり、思いやり、良いこと悪いこと等の道徳性を培ううえでもモデルとなっている	○			
〔心のよりどころとして〕				
○ 幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている	○			
○ 幼児とのスキンシップを取るようになっている	○			
○ 幼児一人ひとりの良さを認めるようになっている	○			
○ 幼児一人ひとりの話をよく聞くようになっている	○			
〔遊びの援助者として〕	○			
○ 幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している	○			
○ 幼児の年齢に応じた分かりやすく聞き取りやすい語りかけをしている	○			
○ 幼児が行き詰っている時に適切な援助をしている	○			
○ 幼児が自ら考えたり工夫したり、できるような見守り方をしている	○			
○ 幼児を褒めたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉掛けをしている	○			
○ 禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている		○		
○ “一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考えながらかかわっている	○			

る				
○ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている	○			
[その他]				
○ 幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている	○			
○ 幼児の個性や性格に応じたかかわり方をしている	○			
○ 幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合でもしていない	○			
4.保育者同士の協力・連携				
○ クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている	○			
○ クラスの環境構成等についてお互いにフランクに意見交換をしている	○			
○ 教職員全員がすべての幼児についての理解できるような様々な工夫をしている	○			
○ 指導上配慮を必要とする幼児については教職員全体で話し合いをし対応をするようにしている	○			
○ 他のクラスや異年齢の幼児達と触れ合うような様々な工夫をしている	○			
○ 他のクラスの幼児達とかかわるよう様々な保育の形態を取り入れている	○			

Ⅲ保育者としての資質や能力・適正	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1. 専門家としての能力・良識				
○ 幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている	○			
○ より高度な専門知識や技能を身に付けようと研鑽している	○			
○ 幼児の性格や個性を把握するよう努めている	○			
○ 保護者に対し、幼児の事をわかりやすく話せる	○			
○ 保護者との信頼関係をつくるよう努めている	○			
○ 仕事の手順をよく考え、能率よく行っている	○			
○ 幼児が考え、感じていることがある程度予測できる	○			
○ 保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	○			
○ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	○			
○ 何かをしてもらった感謝の気持ちを言葉で表している	○			
○ 自らの健康に配慮し、保育をする上で安全性にも気を付けている	○			
○ 幼児と保護者の顔や名前を把握している	○			
○ 職務上知り得た情報の秘密を守っている	○			
○ 幼児が成長して変容していくことに喜びを感じる	○			
○ 幼児や教育に関する情報を絶えずとらえようとしている	○			
○ 幼稚園や幼児のことだけでなく自然や社会の出来事にも興味がある	○			
○ 幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている	○			
○ 自然に対する感性を持っている	○			
○ 命の尊さを感じている	○			
○ 世界の情報、出来事に興味を持っている	○			
○ ごく身近な地域の出来事に関心がある	○			

IV保護者への対応	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.情報の発信と受信				
○ クラスの子どもの様子、自分の考え方、保育のポイント等をクラスだより等知らせている	○			
○ 電話、連絡帳等で緊急な連絡等を行っている	○			
○ 個々の子どもの様子は直接話たり、電話、連絡帳等を使って伝え合っている	○			
○ 保育参観や保護者会を開いて、保育について共通理解をしている	/	/	/	/
○ いつでも保護者と個別懇談ができるようにしておく	○			
○ 自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く	○			
2.協力と支援（保護者に対して）				
○ 保護者の要望等は、園長、主任等に相談しや報告をしている	○			
○ 保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的意義付けをはっきりさせてからにする	○			
○ 保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力の在り方について保護者と話し合っている	○			
3.守秘義務の遵守				
○ 保護者の個人情報については園の方針に従っている	○			
○ 個々の子どもの情報は口外していない	○			
○ 保護者、家族の情報を口外していない	○			
4.対応上のマナー、良識				
○ 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語り掛け、相手の話をしっかりと聞く	○			
○ 親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	○			
○ 電話は手短かに簡潔に対話することを心掛けている	○			
○ 保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性等のよって区別、差別していない	○			
○ 長期の欠席、入院等の場合、園、クラスの様子を伝えている	○			
○ 園の全ての保護者に対し、親しみを込めた会話を心掛けている	○			
5.クレームへの対処の仕方				
○ 保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談をしている	○			
○ クレームの内容によっては、教職員全体で検討し共通理解の上で対処している	○			

V地域の自然や社会とのかかわり	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.地域の自然・人々とのかかわり				
○ 地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている	○			
○ 地域の自然や施設の場所、交通機関、ある程度理解している	○			
○ 地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけ活用している		○		
2.小学校との連携				
○ 小学校の教育内容について理解しようとしている	○			
○ 卒園した子どもの情報を得るように努めている	○			
○ 地域の小学校の行事や公開事業に関心を持っている	○			
3.地域への開放と支援				
○ 地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している		○		
○ 子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている	○			

VI研修と研究	評価基準			
	4	はい		
	3	大体あてはまる		
	2	あまりあてはまらない		
	1	いいえ		
評価内容	4	3	2	1
1.研修・研究への意欲・態度				
○ 研修会や研究会に参加する場合には事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている	○			
○ 研修会や研究では活発に発信している	○			
○ 専門書や専門雑誌を読んでいる	○			
○ 研究保育を参観する時は自分なりの課題と視点を持って観ている	○			
○ 自分の保育のあり方や悩みについて、園長、主任、職員と話し合っている	○			
○ 他園を見学している	/	/	/	/
2.教師としての専門性に関する研修・研究				
○ 子どものみとりとその内面理解についての研修・研究を行っている	○			
○ 指導計画の作成や記録の取り方考察のあり方に関する研修・研究を行っている	○			
○ 環境構成・再構成のあり方についての研修・研究を行っている	○			
○ 自分なりの幼児観・保護者観の確立のための研修・研究を行っている	○			
○ 確立された幼児観・保護者観について客観的にみつめるための研修・研究を行っている	○			
○ 保育者同士の協力連携のあり方について研修・研究を行っている	○			
○ 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行っている	○			
○ マナー等に関する研修を行っている	○			
○ 保護者への対応のあり方について研修を行っている	○			
3.遊具・教材に関する研修・研究				
○ 園の遊具や教材について様々な利用方法について研究している	○			
○ 園の遊具はどのような使い方が危険かわかる	○			
4.園内の環境に関する研修・研究				
○ 園舎の構造が持つ特質が幼児にとってどのような教育的な意味があるか理解している	○			
○ 園庭をどのように教育的に利用していくことができるか理解している	○			
5.今日的課題に関する研修・研究				

○ 子どもを取り巻く様々な状況が変化してきていることについて学習し、何が問題あるか、背景、原因、実態はどうであるかについて理解したり、学習したりしている	○			
○ 様々な変化の中で幼児にとって何が問題であるか子ども園としてはそれに対してどのような教育を行われなければならないかについて考えたり学習している	○			
○ アレルギー・自立の遅れ等、最近多くみられる問題について理解している	○			
○ 障害のある幼児に対応する保育のあり方を学習している	○			
○ 預かり保育や子育て支援のあり方・考え方について学習している	○			
○ ティーム保育についてその意義やあり方について研修・研究している	○			
○ 幼保こ小連携についてのその意義やあり方について研修・研究している	○			
○ 危機管理について現状やあり方について研修・研究している	○			
6.自らを高めるための学習				
○ 趣味・人とのかかわり等、潤いのある生活を心がけている	○			
○ 保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等に関心がある	○			
○ 尊敬する人の話は是非聞きたい	○			
○ いろいろな分野の人と意見交換し合いたい	○			

学校評価シート（学校関係者評価）

（評価対象：令和2年度）

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

日時 令和3年3月1日

評価委員保護者2人、園長、富勢西小学校校長、布施新町町会長

1. 基本事業計画・自己評価を受けて

I. 保育の計画性（教育方針・保育方針）

- ・ コロナ対策を主に考え、事業計画の変更を年間通して、実施されていたということが分かりました。
- ・ 職員の皆さんが、日々の教育方針・園方針を理解し、幼児の姿をイメージし、具体的に月案や週案の活動につなげて、中身の濃い保育が進められていることが分かりました。
- ・ 玄関と、道路が直接につながっている為、飛び出しをさせない、住宅地の中の設置であるので、職員のみなさんが地域への配慮をしながら保育を進めていることが分かりました。
- ・ 今年は、コロナウイルス感染症の予防の為、食毒や換気等、ご苦労が多かったと思います。

II. 保育の在り方・幼児の対応について

- ・ 健康と安全の配慮、健康観察票を作成し、視察を大切にして保育を進めていることが分かりました。
- ・ 事故や怪我は、発生した場合は、園長先生のご指導のもと、適切な処理がなされていることが分かりました。
- ・ 園児に対して「話をよく聞く」対応を必ずなさっている保育の工夫が分かりました。
- ・ 幼児のみとりと理解、一人一人の園児とのかかわりを特に大切に考え、保育士同士の話し合い、相談し合いが、よくなされていることが保護者のアンケート結果でよく分かりました。
- ・ 保護者アンケートの中に「とても満足しています」「感謝しています」の声が沢山あり、良い保育内容の様子がよく伝わってきました。

III. 保育者としての資質や能力

- ・ 「誰に対しても、笑顔で対応」「話を聞く対応を第一に考えて対応」ができる保育士でという職員間の共通理解は大変良いことだと思います。
- ・ 周りの環境を考慮しながら、先生方が一人一人の園児を大切にしている、その協力度が分かりました。
- ・ 保護者と連携しながら、工夫した保育がなされていることが分かりました。

IV. 保護者への対応

- ・ コロナ禍で、保育参観は行えなかったが、保護者との電話や連絡ノートを中心に行ってきたことは、簡単なことではなかったと思います。
- ・ コロナ禍で行事の全ての変更がおありになったにもかかわらず、工夫に工夫を重ねながら、保護者参加にしかも保護者2人の参加を可能にされたことは素晴らしいと思いました。アンケートも「感謝でした」の声がとても多いように思いました。
- ・ 行事を実行する場合は、そのことに教育的意義付けをしっかりとされていることは良かったです。
- ・ 行事等で駐車場の配慮が必ず実行されていることが分かりました。保護者は、安心できると思います。

V. 地域や社会とのかかわり

- ・ コロナ禍で「花の日訪問」「感謝祭訪問」の交流が持てなかったのは、残念でしたね。
- ・ ご近所の掃除をやっていらっしゃることは良いですね。地域とのかかわりができると思います。

VI. 研修と研究

- ・ コロナ禍で専門書、専門雑誌を職員間で共通理解し合う話し合いをやられていることは、とても良いことだと思います。
- ・ 各々の保育士が常日頃から自分の保育の在り方や悩みについて、園長先生、主任先生、職員の先生に、密に相談され、日々の保育に携わっていらっしゃることをお聞きして安心だと思いました。
- ・ 子どものみとりとその内面理解についての研修欠かさずやりながら、幼児理解に繋げていかれていることは、大変なことですが今後も続けて頂きたいです。

2. 今後、園に期待すること

- ・ キリスト教保育の教育目標を教職員の皆さんが共通理解を深め、研修し、毎日の保育に向かっていらっしゃる姿勢を続けて頂ければと思います。
- ・ コロナ禍の中、一年を通して教職員の皆さんが子ども達一人一人を見ながら、対応して下さっていることが、一つ一つの行事の結果として感じ取れました。保護者の皆様が、感謝の思いをお持ちになっていることをとても感じました。
- ・ 幼保こ小の連携も大切なことをとても感じておりますので、よろしくお願い致します。
- ・ 子ども達が主体的に活動に入っていける環境を今後も引き続きして頂けると嬉しいです。
- ・ コロナ対策も、大変な状況ではありますが、引き続きお願いできましたら幸いです。